

津山しんわ文化財団は、津山信用金庫の創立 50 周年記念事業の一環として、職員のアイデアから昭和 51 年に設立されました。地域に根差した金融機関として、業務以外の文化・芸術方面でも地域貢献を果たして行くことが使命であると考え、その一つの結実として生まれた当財団の運営は、津山信用金庫からの寄付により執り行われております。平成 21 年には公益法人制度改革に対応し、一般財団法人津山しんわ文化財団として新たなスタートを切り、設立以来の理念を継承しつつ、美作地域の文化意識の向上と文化事業の育成を通じ、郷土の発展に寄与することを目的として活動しております。

当財団のメイン事業であります「しんわ美術展」は、昭和 56 年と 58 年に「郷土出身作家 東京作州会美術家展」を、また昭和 63 年には「在京、在津作家 春の美術展」を開催し、その後、平成元年に津山市制 60 周年を記念し「津山の絵」をテーマとして作品展を企画開催し、芸術・文化を愛する郷土の皆様に大変喜ばれたところであります。当財団と致しましては、郷土の画家を目指す若い方々を奨励する上で、更に進化させたいとの思いから、平成 2 年の第 2 回から皆様方に広くご参加いただいた「しんわ美術展」として全国公募に切り替え現在に至っております。

郷土の未来を築いて行く活力の一助となればという願いを込めて、これからも益々地域に密着した運営をしていきたいと考えています。

一般財団法人 津山しんわ文化財団
理事長 中島 壮太